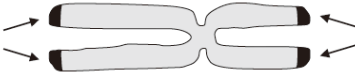


103-13

問題文



1. 動原体
2. テロメア
3. 核小体
4. セントロメア
5. 紡錘糸

解答

2

解説

染色体末端構造は、テロメアと呼ばれます。繰り返し塩基配列が実体です。細胞分裂の際、短くなります。

選択肢 1,4,5 ですが

動原体とは、セントロメアとも呼ばれ「中心」の粒状の部分です。細胞分裂時、紡錘糸が結合する部分です。（より正確には、中心部分がセントロメアで、細胞分裂時、動原体が形成される。）

紡錘糸は、染色体に結合する繊維状の構造のことです。どれも、染色体の末端構造の名前ではありません。よって、選択肢 1,4,5 は誤りです。

選択肢 3 ですが

核小体とは、核における分子密度の高い領域です。核の模式図を書く時、中に小さなホクロのような点がよく書かれています。そのホクロのような部分です。染色体の部分構造の名前では、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

以上より、正解は 2 です。